

《担当者名》池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp

【概 要】

介護保険制度の仕組み・サービスについて学ぶとともに、地域で高齢者を支援するための方法や課題について学習する。

【学修目標】

- ①高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。
- ②高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。
- ③高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。
- ④高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 高齢者の定義と特性①	・本授業において学ぶ高齢者福祉を構成する諸要素について概観し、説明できる。 ・高齢者の定義、特性（社会的・身体的・精神的特性）について理解し、説明できる。	池森
2	高齢者の定義と特性②	・高齢者の定義、特性（社会的・身体的・精神的特性）について理解し、説明できる。	池森
3	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境① 高齢者と家族等に対する支援の実際①	・高齢者の生活実態生活ニーズ、高齢者を取り巻く社会環境について理解し、説明できる。 ・高齢者、家族の就労に対する支援、地域包括ケアシステムにおける認知症ケア、介護予防における支援、終末期ケアについて理解し、説明できる。	池森
4	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境② 高齢者と家族等に対する支援の実際②	・高齢者の生活実態生活ニーズ、高齢者を取り巻く社会環境について理解し、説明できる。 ・高齢者、家族の就労に対する支援、地域包括ケアシステムにおける認知症ケア、介護予防における支援、終末期ケアについて理解し、説明できる。	池森
5	高齢者福祉の歴史①	・高齢者福祉の理念、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程について理解し、説明できる。	池森
6	高齢者福祉の歴史② 高齢者に対する法制度①（老人福祉法）	・高齢者福祉制度の発展過程について理解し、説明できる。 ・老人福祉法の成立の背景や目的、内容、措置について理解し、説明できる。	池森
7	高齢者と家族等に対する支援の実際③	・地域での高齢者福祉実践について、実践者の話をもとに理解を深め、自分の意見を伝えることができる。	小西浩平(特別講師) 池森
8	高齢者に対する法制度②（介護保険法①）	・介護保険制度の概要、保険者と被保険者・保険料など費用負担の仕組みについて理解し、説明できる。	池森
9	高齢者に対する法制度②（介護保険法②）	・介護報酬の概要、居宅サービス、施設サービスの種類、要介護認定の仕組みとプロセスについて理解し、説明できる。	池森
10	高齢者に対する法制度②（介護保険法③）	・介護サービスについて理解をした上で、ケアマネジメントの概要、ケアプランの種類について理解し、説明できる。	池森
11	高齢者に対する法制度②（介護保険法④）	・地域包括ケアシステム、地域支援事業について理解し説明できる。	池森
12	高齢者に対する法制度②（介護保険法⑤）	・介護保険制度における国・都道府県・市町村、組織及び団体の役割について理解し、説明できる。 ・高齢者福祉に関連する専門職等の役割について理解し、説明できる。	池森
13	高齢者に対する法制度⑦（その他の高齢者福祉に関する法制度①）	・高齢者の医療の確保に関する法律の概要について理解し、説明できる。	池森

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・育児・介護休業法の概要について理解し、説明できる。	
14	高齢者に対する法制度⑧（その他の高齢者福祉に関する法制度②）	・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の概要について理解し、説明できる。 ・有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅の現状と課題について理解し、説明できる。	池森
15	高齢者に対する法制度⑨（その他の高齢者福祉に関する法制度③）	・高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律など高齢者の権利擁護に関する問題や法制度について理解し、説明できる。	池森

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

新・MINERVA社会福祉士養成テキストブック⑩ 高齢者福祉 ミネルヴァ書房

【備考】

- ・授業中の私語は厳禁。他の学生にとって極めて迷惑な行為であることから、厳正に対処する。
- ・出席確認はコメント票を用いて厳格に行うため、留意するように。

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「高齢者福祉」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「発達と老化の理解」に該当する。さらに、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉」に該当する。

【学修の準備】

- ・日頃から高齢者介護や福祉に関する報道に関心をもち、授業で学んだ内容と関連づけ自ら理解を深めること（予習）。
- ・授業中に提示された課題に取り組むとともに、次回のレジュメを読み予習をして授業に臨むこと（予習・復習）
- ・授業中に特に重要だと指摘した事項について自ら調べ、復習しておくこと（復習）。

※予習：2時間 復習：2時間

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

介護福祉士、社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

介護施設での実務経験をいかし、介護保険制度やサービスの基礎的知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している